

専任教員教育研究業績

平成 29 年 6 月 9 日

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性別
中村 眞樹子	なかむら まきこ	食物栄養学科	学科長 教授・准教授・ 講師 ・助教	男 女
担 当 科 目 名			学内委員会等 (委員長)	
食品学Ⅰ・Ⅱ、食品学実験、情報処理Ⅱ、 栄養教育実習総論、栄養教育実践実習			学生自治会担当 FD委員会 入試募集委員会	
学 歴				
和暦 (西暦) 年 月	事 項			学位
平成元 (1989) 年 3 月	神奈川県立栄養短期大学食物栄養学科 卒業			準学士 (栄養学)
平成 13 (2001) 年 3 月	放送大学教養学部生活科学コース生活と福祉専攻 卒業			学士 (教養学)
平成 19 (2007) 年 3 月	横浜国立大学大学院教育学研究科生活システム系教育専攻 修了			修士 (教育学)
教 育 歴 ・ 職 歴				
名 称	期 間	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容		
(株) ハーベスト	平成元年 4 月～ 平成 3 年 2 月	委託給食会社・栄養士		
社会福祉法人日本フレンズ奉仕団特別養護老人ホーム フレンズホーム	平成 3 年 2 月～ 平成 7 年 3 月	特別養護老人ホームおよびデイケアセンター等・ 管理栄養士		
神奈川県立栄養短期大学 食物栄養学科	平成 7 年 4 月～ 平成 16 年 3 月	栄養士養成・助手		
学校法人難波学園 横浜調理師専門学校	平成 11 年 4 月～ 平成 16 年 3 月	調理師養成・非常勤講師		
神奈川県立保健福祉大学 栄養学科	平成 15 年 4 月～ 平成 27 年 1 月	管理栄養士および栄養教諭養成・ 助手 (平成 15 年 4 月～平成 19 年 3 月) 助教 (平成 19 年 4 月～平成 26 年 11 月) 非常勤講師 (平成 26 年 11 月～平成 27 年 1 月)		
文教大学 健康栄養学部管理栄養学科	平成 24 年 4 月～ 現在に至る	栄養教諭養成・非常勤講師		
小田原短期大学 食物栄養学科	平成 27 年 4 月～ 現在に至る	栄養士養成・専任講師		
所 属 学 会 等				
名 称	活動期間	活動内容 (役職等の活動を含む)		
日本栄養改善学会	平成 7 年 4 月～ 現在に至る	学術総会参加・発表等 第 61 回日本栄養改善学会学術総会実行委員		
日本食育学会	平成 18 年 11 月～ 現在に至る	学術総会参加・発表等 第 5 回日本食育学会学術総会実行委員		
日本給食経営学会	平成 21 年 9 月～ 現在に至る	学術総会参加・発表等		
日本公衆栄養学会	平成 26 年 6 月～ 現在に至る	学術総会参加・発表等		
社 会 活 動 等				
名 称	活動期間	活 動 内 容		
三浦半島地区教職員組合教育研究集会 「保健・食教育」共同研究者 (コメンテーター)	平成 23 年 10 月 平成 25 年 10 月	学校栄養職員および養護教諭等学校教育関係者や保護者の研究活動に協力		
神奈川県教職員組合教育研究集会 「環境・食教育」共同研究者 (コメンテーター)	平成 24 年 11 月	小中学校教諭などの学校教育関係者や保護者の研究活動に協力		

高大連携事業・高校生向け出張講座 講師	平成23年11月 平成25年11月	高校へ出向き、進路支援および専門教育の体験を目的に、野菜の色素やその特徴、調理での活用例を体験しながら学ぶ授業を実施
横浜市中野地域ケアプラザ・介護予防普及強化講座 講師	平成25年8月 平成26年8月 平成27年9月 平成28年9月	65歳以上の栄区在住の地域住民に対し、「主食・主菜・副菜」の揃った食事を一日三食摂ることの大切さやその工夫をおやつ作りの簡単な調理実習を含め実施
小田原市お弁当レシピコンテスト・審査員	平成27年12月 平成28年12月	小田原市内中学生応募者によるお弁当コンテストの審査および助言
小田原市教育委員会「学校給食・夏季研修会」講師	平成28年7月25日	小田原市学校給食に携わる栄養教諭、学校栄養職員、調理員参加の夏季研修会において「子どもの食生活」をテーマに講義。
小田原食品衛生協会『健康具だくさん味噌汁コンテスト 審査委員長』	平成28年10月～ 平成29年2月	小田原市民の食事は、塩分摂取量が多く野菜が少ない等の傾向にあることから、塩分控えめ野菜たっぷりの食生活の普及啓蒙に取り組むための取り組みに協力。コンテストの審査、講評等実施。小田原市医師会主催公演会にて試食会も実施。
大和・綾瀬学校保健協議会 研修会 講師	平成28年11月8日	大和・綾瀬地区の学校給食担当者に向け「給食指導」に名KKする講義を実施。
ぼけっとランド栄養士研修会 講師	平成29年1月28日	ぼけっとランド栄養士を対象に「食べる機能」をテーマに講義・ディスカッションを実施。

担当教科目に関する資格・免許等

名 称	取得年月	取 得 機 関
栄養士	平成元年3月	神奈川県立栄養短期大学 東京都
管理栄養士	平成5年11月	国家試験 厚生省
中学校教諭二級普通免許 保健	平成元年3月	神奈川県立栄養短期大学 神奈川県教育委員会

研究実績に関する事項

代表的な著書、論文等の名称	単著 共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) Bright Red Color Formation of Cooked Pork Loin Cured with Lactic Acid Bacteria Starter Culture without Adding Nitrite during Low temperature Storage	共著	平成18年	FOOD SCIENCE AND TECHNOLOGY RESEARCH ; 12(2)	食肉加工に使用する亜硝酸塩の代替としての乳酸菌の効果を検討した。亜硝酸塩を加えずに、豚ロース肉を塩漬する塩漬液にスターターとして乳酸菌を添加した。 Yoshikazu KAWAHARA, Makiko NAKAMURA, Izumi SAKAGAMI and Yoichi SUZUKI
加工食品の栄養価計算による栄養表示の試み ～無添加ソーセージを例にして～	共著	平成19年4月	神奈川県立保健福祉大学大学誌 ; 4(1) :	無添加ソーセージを例にその栄養価計算方法と分析値の活用による製品推定値の検討を行った。 中村眞樹子、河原芳和

企業等における「食事バランスガイド」を活用した日本型食生活の普及・啓発、関東地区事例 15	単著	平成 20 年 3 月	平成 19 年度 企業等における「食事バランスガイド」を活用した日本型食生活の普及・啓発事業 報告書 (社団法人 米穀安定供給確保支援機構)	平成 19 年度につぼん食育推進事業の一環として、企業等における「食事バランスガイド」を活用した日本型食生活の普及・啓発事業を、神奈川県立保健福祉大学学生食堂等において実施し、その報告と検討を行った。
食育教材としての学校給食の現状—神奈川県内の小学校給食の献立・使用食材の調査—	単著	平成 20 年 5 月	神奈川県立保健福祉大学大学誌; 5(1)	「生きた教材」といわれる学校給食において提供されている献立と使用食材から、その内容や特徴を明らかにすることを目的に、神奈川県内 27 市町村の小学校給食 5 月および 11 月の延べ 1007 食について調査を実施した。
三浦半島における野菜生産の現状と課題	共著	平成 23 年 5 月	神奈川県立保健福祉大学大学誌; 5(1)	神奈川県立保健福祉大学と農家および農業技術センターとの共同研究により、ツマ加工に適したダイコン品種、伝統品種三浦ダイコンの物性および調理特性、トウガンのサラダ素材としての調理特性などを確認し、さらに生産における課題を検討した。 河原芳和、中村眞樹子、中山大海、深澤智恵妙、三神和彦、富岡亜由子
横須賀市学校給食における地場産物使用に関する現状と課題	共著	平成 24 年 4 月	神奈川県立保健福祉大学誌、9(1)	横須賀市学校給食における地場産物使用状況を調査し、課題を検討した。 中村眞樹子、松沢純子、田川のり子他
給食経営管理論実習における学生の自覚疲労について	共著	平成 25 年 4 月	神奈川県立保健福祉大学誌、10(1).	日本産業衛生協会産業疲労研究会による疲労の「自覚症状しらべ」および「自覚症状しらべ」を用いて実習前後の状況を長期にわたり継続的に学生に自記させ、その結果および傾向から実習の課題を検討した。 中村眞樹子、駿藤晶子、山本妙子他
スライスし真空包装した亜硝酸塩無添加豚ロース加工品へのホモ型乳酸菌接種による赤色化	共著	平成 25 年 4 月	神奈川県立保健福祉大学誌、10(1)	亜硝酸塩を使用しない無添加豚ロース加工品を試作し、スライスした後真空包装する際に包装内にホモ型乳酸菌を摂取し、低温で長期保存すると、赤い色を呈し、保存期間も長くなることを見出した。 河原芳和、鈴木和雄、中村眞樹子、阪上泉、鈴木洋一
ラジオ体操の実施効果に関する調査研究	共著	平成 26 年 3 月	平成 25 年度ラジオ体操事業研究	ラジオ体操を 3 年間以上週 5 日以上継続的に実施している 55 歳以上の男性 188 名、女性 286 名、計 474 名に「生活およびラジオ体操に関するアンケート」並びに BDHQ (簡易型自記式食事歴法質問票) によって調査を実施し、その食習慣等について検討した。 渡部隼二、青山敏彦、山本妙子、中村眞樹子他
保育所給食に関する研究 ～栄養士業務における問題点と対処法の提案～	共著	平成 28 年 3 月	小田原短期大学研究紀要	本学のグループ企業内のチャイルド事業本部が運営する認可及び無認可保育所の栄養士に対して保育所給食やその関連の事項に関するアンケート調査を実施、その結果をもとに研修会の実施や課題の検討を行った。 内山麻子、稲葉佳代子、中村眞樹子、内田由佳
(その他) 大豆たん白の家庭料理への応用に関する研究	共著	平成 20 年 9 月	第 51 回日本栄養改善学会学術総会	植物性たん白の利用促進を図るため、ピザ生地、オープン焼き、卵とじなど料理の試作し、さらに官能検査等を実施し、家庭料理への使用を検討した。 稲葉佳代子、中村眞樹子他
DHA 含有豚肉を原料とする亜硝酸塩無添加食肉加工品に対する乳酸菌の酸化防止効果	共著	平成 20 年 9 月	日本食品科学工学会第 55 回大会	発酵した食品リサイクル飼料に魚腸骨を加え肥育した DHA を含む豚肉原料を用いミオグロビン発色乳酸菌 R-11 (Lactobacillus coryniformis synonym) を接種し、食肉加工品 (ハム) の発色及び脂質酸化の検討を行った。 河原芳和、鈴木和雄、中村眞樹子、阪上泉、鈴木洋一
食事バランスガイドの普及・啓発活動が大学学生食堂の利用状況に及ぼす影響	共著	平成 22 年 10 月	第 5 回日本給食経営管理学会	学生食堂において食事バランスガイドの普及のため、その内容を教育するポスターや卓上メモの作成・掲示を行い、アラカルトによる食事提供方法を「主菜」「副菜」ごとの配置やエネルギー表示などを行い、食事バランスガイドの実践がしやすい環境を整え、その効果を検討した。 佐藤啓子、中村眞樹子、山本妙子他

グルテン添加米粉パンの特性と学校給食への利用	共著	平成23年5月	第5回日本食育学会・学術集会	焼成した米粉パンの特性を明らかにし、その米粉パンを主食とした場合の嗜好性を検証し、学校給食等に使用した場合の利点について考察した。 睦浦美月、野村実希、中村眞樹子、河原芳和
横須賀市学校給食における地場産物の使用について～学校独自献立の実態調査から	共著	平成23年5月	第5回日本食育学会・学術集会	横須賀市学校給食に携わる学校栄養職員・栄養教諭に学校独自献立実施の際の地場産物使用に関する実態調査を実施し、その状況をまとめ、課題を検討した。 松沢純子、田川るり子、中村眞樹子他
給食経営管理論実習における学生の自覚疲労について	共著	平成26年8月	第61回日本栄養改善学会学術総会	日本産業衛生協会産業疲労研究会による疲労の「自覚症状しらべ」および「自覚症しらべ」を用いて実習前後の状況を長年にわたり、学生に自記させ、その状況および実習の課題の検討をした。 中村眞樹子、駿藤晶子、山本妙子
ラジオ体操継続者の食生活実態について	共著	平成26年9月	第73回日本公衆衛生学会総会	ラジオ体操を継続している高年者の食習慣ならびに食事摂取状況を調査し、その食習慣等を検討した。 中村眞樹子、山本妙子、渡部月子、渡部遼二
食育村レシピ&食育プログラム集	共著	平成28年2月	小田原短期大学乳幼児研究所	27年度県西地域地方創生大学連携事業の一環で、食育村のレシピおよび食育プログラムを紹介。その食育プログラムについて執筆。中村眞樹子、稲葉佳代子他
幼児版おだたん食育村～子どもと作るおいしい食育～	共著	平成29年3月	小田原短期大学所	28年度県西地域地方創生大学連携事業のもと、親子が楽しく調理し、食を通じて健康に暮らすことに興味をもてるレシピと食育コラムをまとめた。中村眞樹子、稲葉佳代子他
その他 (表彰等)				
平成21年5月	神奈川県優良栄養士表彰	中村眞樹子 神奈川県栄養士会		
平成24年6月	食育ボランティア表彰	「神奈川県立保健福祉大学・食育サークル シーラボ☆」 内閣府		
平成26年3月	神奈川県保健福祉局長表彰	「保健福祉大学医食農同源推進チーム」 神奈川県保健福祉局		